

## 新居浜市総合文化建設委員会 第1回分科会 小劇場 会議録

1. 日時	平成 23 年 5 月 23 日 (月) 14 : 00 ~ 16 : 00
2. 場所	新居浜市役所 32 会議室
3. 出席者	<p>委員 田邊憲司 好井和樹 山本光博 福本美喜和</p> <p>総合文化施設室長 赤尾恭平 " 副室長 菅春二 " 主事 山内貴志 " 山田慶治</p> <p>(株)日建設計 4 名 (株)トータルメディア開発研究所 3 名 新居浜市役所 建築住宅課 2 名</p>
4. 欠席者	委員 伊藤公一 石川猛
事務局	<p style="text-align: center;">&lt;分科会『小劇場』の開催挨拶・進行説明&gt;</p> <p>定刻がまいりましたので、ただ今から、第1回分科会『小劇場』開催いたします。</p> <p>それでは、議題に移りますが、なぜ小劇場なのか、なぜ250席なのかというご意見がでました。そこで、意識統一や共通認識をして頂くためにご説明させて頂いて、その後、このあかがねフォーラム全体の事業の考え方や枠組みについてご説明して、それから、小劇場の小分けについての話し合いに移らさせて頂きたいと思えます。</p> <p>まず、なぜ250席なのかについてご説明します。</p> <p>40年前の美術館構想に始まって、現在の総合文化施設の建設という事業に至りました。小劇場について、これまでの議論のなかでどういった位置付けをしていくかという話で、市民の方々や議会の皆さままで様々な話をしていった結果、小劇場・250席に決まった経緯がございます。</p> <p>小劇場の予算・規模が決まっているだけで、それ以外の詳しい事は決まっていない状況なので、これから委員さんのご意見をお伺い</p>

<p>(株)トータルメディア開発研究所</p>	<p>して、話し合っ決めていきたいと思っています。</p> <p>それでは、事業の基本的な考え方・施設設備の目標の設定について(株)トータルメディア開発研究所からご説明いたします。</p> <p style="text-align: center;"><b>&lt;(株)トータルメディア開発研究所 資料説明&gt;</b></p> <p>今回日建設計と一緒にあかがねミュージアムの設計を勤めさせて頂きます。そして、私共トータルメディア開発研究所は、主に運営計画と展示に係る建築設計を担当させて頂きます。</p> <p>資料1ページをご覧ください。この資料は、あかがねミュージアムの施設設備の目標・事業の枠組みを説明したものになります。これは、参考程度に作ったものですので、これから委員さんのご意見を頂けたらと思っています。</p> <p>まず、施設設備の目標についてですが、文化創造の拠点は、「創る・学ぶ・育む」といったもので、これをコンセプトにしています。そして、あかがね文化の太鼓台や産業文化の別子銅山、そして、地域文化のお手玉などといったものを融合・交流していけるものにし、新しいモノを生み出せればと考えています。</p> <p>次に、事業の枠組みについてですが、大きく分けて5つになります。美術館・小劇場では、1.鑑賞、芸術作品鑑賞機会の提供事業で、市民・来訪者に、国内外の優れた芸術作品の鑑賞機会を提供するような空間を作る。2.発表、市民芸術活動の支援事業で、市民主体の芸術活動に対して、創作や発表する場や機会を提供したり、相談や情報提供などの支援を行う。3.協働、市民参画型事業で、ワークショップなどにより、市民が専門家による指導を受けたり、プロのアーティストや演奏家等との共演を行う活動や、市民が主体となって新居浜やあかがねミュージアムの事業に、市民ボランティア制度地、さまざまなレベルで参画、連携する活動。4.普及、普及啓発事業で、地域の学校や福祉施設などにアーティストや専門家を派遣して、芸術・文化面から他機関の活動や支援を行うアウトリーチ活動。5.育成、人材育成事業で、あかがねミュージアムを生きた教材として、市民に芸術・文化事業の企画・運営に関する知識やノウハウを学んでもらう実施的講座をできる空間をつくるといったものです。</p> <p>次にあかがね文化ですが、大きく分けて2つに分けます。1.学ぶ、歴史文化資料・情報の提供事業で、市民・来訪者が、新居浜の</p>
-------------------------	---

<p>(株)トータルメディア開発研究所</p>	<p>席市文化に触れ、学ぶための資料を公開・提供したり、市内各地にある歴史文化に関する情報を提供するものです。2．発表、市民芸術活動の支援事業で、市民主体の芸術活動に対して、創作や発表する場や機会を提供したり、相談や情報提供などの支援を行うといったものになります。</p> <p>そして、あかがねフォーラムについても各分野を横断する形で3～5があります。</p> <p>3．協働、市民参画型事業で、ワークショップなどにより、市民が専門家による指導を受けたり、プロのアーティストや演奏家等との共演を行う活動や、市民が主体となって新居浜やあかがねミュージアムの事業に、市民ボランティア制度他、さまざまなレベルで参画、連携する活動。4．普及、普及啓発事業で、地域の学校や福祉施設などにアーティストや専門家を派遣して、芸術・文化面から他機関の活動に支援を行うアウトリーチ活動。5．育成、人材育成事業で、あかがねミュージアムを生きた教材として、市民に芸術・文化事業の企画・運営に関する知識やノウハウを学んでもらう実施的講座をできる空間をつくるといったものです。</p> <p>このあかがねフォーラムを中心に展開していけたらと考えています。</p> <p style="text-align: center;"><b>&lt;補正説明&gt;</b></p> <p>あくまでも資料でのご説明となるんですが、小劇場だけではなく何か様々な事のできる、市民の方々の交流となる場所を考えておまして、その参考としてつくったのが7ページにある、工房(オープンラボ)・アトリエ・会議室・スタジオ・ライブラリー・交流サロンになります。そして、この交流のもてる空間をあかがねフォーラムと考えています。</p> <p>例えば、会議室についてですが、間仕切りにして様々な会議に対応できるようにし、公開型と非公開型に区分できる使い方にすることで会議室の使い方が広がるようにしています。ここで会議をして決まったことなどを、スタジオにもちいって何かをするといったことできるように一空間にまとめることでご利用される方に良いのではないかと考えました。</p> <p>小劇場に関しても、スタジオでリハーサルしたり、工房で小劇場での小道具を作成したりなどの使い方もできると思いかかがねフォ</p>
-------------------------	--

	<p>ーラムを考えました。</p> <p>次に、8ページの説明ですが、7ページで紹介したあかがねフォーラムがどのようなものになるのかという位置付けになります。</p> <p>この資料は、一つの案として紹介させて頂けたらと思います。あかがねフォーラムの位置付けといたしましては、あかがねミュージアムの活動のエンジンとなるような場にしていき、小劇場・美術館・あかがね文化が交流する場であり、全ての機能が「あかがねフォーラム」を結節点として繋がっている場にしたいと考えています。</p> <p>そして、このことから考えた再現図が3つの案として提案させて頂きました。1つ目の案ですが、大空間の中に主要諸室が点在する形です。これは、主要諸室以外は、間仕切りで自由に使用可能になっており、外からも見える空間となっています。次に2つ目の案ですが、各会議室をストリートでつなぐ形になっています。各諸室が個室状になっており、ストリートには、ショーウィンドを設け、にぎわいのある演出にしています。最後に3つ目の案ですが、会議室を中心に各諸室を配置する形になっています。会議室は、間仕切りで仕切られていて、自由に使用可能になっていますし、回路から、会議や活動の様子をみることのできる空間になっています。</p> <p>次に、9ページの説明ですが、あくまでもイメージのものですが、あかがねフォーラムがこういった活動をするかですが、大きなスペースにスタジオを大きく取りまして、その周りに会議室や工房を配置し、スタジオ中心へどこからでも移動できる形にするものです。それにより様々な方が触れ合い・交流に繋がると考えています。</p> <p>どのような案になっても効率の良い形にしていきたいので、委員さんの方々にご意見を頂ければと思います。</p> <p>委員の方々トータルメディア開発研究所のご説明を聞いてご意見がありましたらお願いします。</p> <p>トータルメディアさんの方から説明がありましたが、この文化施設については、日建設計さんが管理・運営されるんですか。</p> <p>管理・運営については、今後の話であり、決まっておりません。</p>
事務局	
委員	
事務局	

委員	<p>あと小劇場のことについて疑問があったんですが、前のもらった資料に書いているんですが、文化センター大ホールより奥行きがあると書いていますが、今回は、そこまでに達していないと書いていますが、説明をしてください。</p>
事務局	<p>そのことですが、後ほど日建設計さんの方から小劇場ホールの案としてご説明がありますが、予算・面積が決まっていますし、小劇場のほかにもリハーサル室などの準備等のものがあることとなりますので、それに不信感はあると思いますが、まだ決まったことではないのでご了承頂ければと思います。</p>
委員	<p>これからの分科会が進んでいくなかで、あまりにも数字が変化することがあったら、最初のものを見られた方がどのように思うか考えて頂きたい。これからは、注意して頂きたい。</p>
委員	<p>具体的なことは、設計にはいった時の話になるのでしょうか。</p>
事務局	<p>機能の話と設計の話は、また先の話になりますので、今は、どんな物が必要か何があれば良いのかを提案して頂きたいと考えています。</p> <p>建物の広さ等の中身の話は、これから、日建設計さんにご説明していただくので、そのご説明を聞いて頂いてからのご意見を出して頂ければと思います。</p> <p>それでは、日建設計さんご説明お願いします。</p> <p style="text-align: center;"><b>&lt; (株)日建設計 資料説明 &gt;</b></p> <p>資料の説明に入りたいと思います。</p> <p>小劇場250席といいましても様々な物がありまして、その参考といたしまして、例が資料10ページに載っております。劇場だけで</p>
(株)日建設計	

はなく様々な物を参考にしていきたいと思ひまして載せてみました。委員さんで載っていないホールなどの良い所などがありましたら、言ひて頂いて参考にしたいと思ひていますのでお願ひします。それによつてある程度の小劇場の方向性をつけていきたいと思ひています。その中でも、この小劇場で何をされるかという事が一番大事になつてきます。

その例として3つだして見ました。首都圏の方で大変よく使われている、「座・高円寺2」になります。このホールは、約250席でホールの主目的も小劇場なので今回に近いものになっていると思ひます。そして、中身ですがワンボックス型で、椅子は固定になっています。椅子の段差も固定で動かないものになっています。他には、2階にギャラリーが一層あり、照明も多くキャットウォークみたいになっています。バトンも等間隔にあるので使い勝手は、良いとおもいます。しかし、音響反射板がないので、音響は短い。コンサートには、お勧めできない形になっています。

次に、「座・高円寺2」とほぼ真逆のものを参考に上げて見ました。大阪にある、「フェニックスホール」です。ここは、座席は、300席ありクラシックコンサート専用ホールになっています。椅子は、1階は、動かせる椅子ですが、2階は、固定椅子になっていて舞台を囲むように設置されています。クラシック用なので、音響は長くとっています。

先の2つの中間的なものが、「いわき芸術文化交流館アリオス 小ホール」になります。ここは、大、中、小ホールがあるので、設備が揃っています。小劇場を目的としたホールになっています。ワンボックス型で、スタッキングチェアを置くタイプで、段差が可動式なので様々な場面に適用できるものになっています。ギャラリーは、2層ですが、音響反射板がないので、残響は短くなっています。

簡単に3つの例を紹介しましたが、「フェニックスホール」は、クラシック用なので、まずないと考えています。そして、他の2つのホールについては、小劇場だけではなくコンサートもできるようにしたいのか、どういったものをするのかで造りが変わってくるので、第一段階といたしまして、皆様のご意見を伺いたいと考えています。

次に、11ページに移りまして、このページでは、250席規模の劇場で、想定される・可能性のある利用形態と、一般的に要求される空間・設備をまとめたものになります。しかし、全ての機能を入れようとする、使い勝手が悪い・機能が十分でない等、相反す

<p>事 務 局</p>	<p>ることもできてしまうことから、機能については、ある程度に絞り込んでもらえればと思います。最低限これとこれは、という意見を定めてもらいたいと思います。表ですが、下にいくにつれて、構造が複雑になってきますし、設備費も高くハードになってきます。管理・手入れも大変になってきます。</p> <p>次に、12ページ～17ページになりますが、これは、まだ先の段階の話になってきますが、一応先ほど紹介した「座・高円寺2」の平面図と断面図になります。他にも、小劇場の例としていくつか作ってみましたので、目を通して頂ければと思います。しかし、たたき台程度のものなので、まだ完成ではありません。</p> <p>次に、こちらでは、銅夢新居浜で使われている機能で、ロールバックチェアという電動で椅子が出たり、入ったり段差が無くなるといったものの説明ですが18ページになります。固定椅子とロールバックチェアがありますが、固定席は、頑丈でゆったりしたものになります。値段も安く、自由のきくものになります。しかし、固定なので、ホールの使い方は限られたものになります。次に、ロールバックチェアですが、昔は、座って音がしたりなどの問題点がありましたが、最近では、固定と変わらないものになってきています。その分値段は、固定よりも高くなります。しかし、可動式なので、様々なホールの使い方ができるものになっています。使い方によって決まるものなので、何をするかなどが大事になってきます。</p> <p>最後に、19ページ～21ページですが、参考資料ということで新居浜市市民文化センターの中ホール・大ホールの平面図と断面図をお借りして掲載させていただきました。</p> <p>以上で資料説明を終わります。</p> <p>(株)日建設計さん、ご説明ありがとうございました。</p> <p>前に話していたものとは、広さ等ちがうとは思いますが正直文化施設として様々なものが一つの建物に入るわけで、あれもこれも大きくと言われましても、最初にご説明したとおり、広さ・面積は、限られているのでご理解頂ければと思います。</p> <p>委員の皆さま、ご意見・ご質問があればよろしくお願いします。</p>
--------------	---

<p>委員</p>	<p>大きい文化施設なので、様々な使い方をできた方が良いと思いますから、椅子は、可動式のロールバックチェアが良いと思います。</p> <p>それと、小・中学生を例に出して言いますと、音響版のことですが、やっぱり良い物にして頂いてたくさんの方に良いホールをご利用してもらえるものにしたいと思っています。</p>
<p>(株)日建設計</p>	<p>音響版の話は、次回狙いどころが定まってからのことですので、ご理解して頂きたい。残響の時間の話ですが、建物の大きさ等の問題で変わったり、小さいホールで音響版をつけると、残響が残りすぎてしまうので、使いようになってきます。</p> <p>音響時間が何秒いるだとかのことではなくて、反響板のない所で演奏等をする、音が抜けるので・・・</p>
<p>委員</p>	<p>フライタワーがあって、幕がたくさん吊ってある所だと、音が上に抜けて、吸われて、なかなか音が前にでないということになるんではいけない。</p>
<p>委員</p>	<p>私の経験ですが、この資料の案であれば、フライタワーがなくて、幕もそんなになくて、これだけ客席と近ければ、音は前にでると思います。音的には、良く聞こえると思います。</p>
<p>(株)日建設計</p>	<p>反射板だけの問題だけではなくて、創り込みによって変わることもありますから、例えば、壁の角度だったり、素材によって聞こえ方が違ってきます。お風呂みたいに残響をしたりすると、落語などをすると何を言ってるのか分からないということになりますので、ある程度残響を短めにしておくと、250席程度のホールだと、直接的な声が届きますので良いのかなとも思ったりします。</p>
<p>委員</p>	<p>詳しい事は分からないんですが、音楽の方に聞くと、絶対出てくる話で、音響設備のことなんですが、音楽関係の人には、音響関係をしっかりしておかないといけないと思います。</p>



事務局	<p>劇場ということで、なかなか広さが想像しにくいと思うんですが、直接の音が聞こえる広さなら、問題はないと思うんですが、どんな聞こえ方にしたいといった時に、技術面でクリアできれば、委員の方々も問題のない話だと思うんですが。</p>
委員	<p>反響板がなくても、様々な場面で使えるようになるのであれば、問題はないと思います。</p>
委員	<p>愛媛県総合科学博物館は、反響板がなくても、あの広さで一番後ろの席でもちゃんと聞こえるようになっています。</p>
委員 一同	<p>本当ですか。</p>
委員	<p>それでは、反響板がなくても設計によっては大丈夫なのかもしれないですね。</p>
(株)日建設計	<p>逆にフライタワーが大きいのがあって、幕がたくさんあってとかになると演奏したり、歌っている人が疲れたり、手ごたえがないようなことになっては困るので、跳ね返り音があるようにはしないといいけないですが、跳ね返りが強すぎると、何を言っているのかが分からないようにしてしまいます。そうすると、他に使えないホールになってしまいますので。</p>
委員	<p>たしかに音楽関係だけしか使えないようにしてしまいますと、使い勝手の悪いホールになってはいけませんので。</p>
委員	<p>つくる前提でお話しますが、この小劇場をつくる事によって、新居浜がどんな風になるかというメッセージ性がなくてはならないし、例えば、今回あった地震の時に、避難所として使えるだとかという市民の方々が分かるようなメッセージ性も考えてほしい。</p>

<p>(株)日建設計</p>	<p>私共が考えているのは、メッセージ性のことから言いますと、小劇場だけでのメッセージ性ではなく、文化施設全体でのメッセージ性があると良いと考えています。</p>
<p>事務局</p>	<p>複合施設という所を一番の売りにしたいところで、小劇場や美術館やあかがね文化が全て繋がったら一つの大成功かなと思っていて、それが市民の方々への、一つのメッセージになればと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>何回かお話したんですが、新居浜の文化施設の利用者がどんな目的で使用しているかを調査してほしいとお願いしてたんですが。</p>
<p>(株)日建設計</p>	<p>ホームページをみて、年間スケジュールもあるので調べました。しかし、今の現状のデータでつくるのか、先を見据えてつくるのか、どの施設をつくる時もでてくる問題です。</p>
<p>委員</p>	<p>地域のニーズに合わせて、共同活動等の、市が主催するような企画を多くしてホール自体の活性化に繋がれば良いと思う。</p> <p>今現状での、頻度を出してもらって、文化センターや他の施設にないものや足りないものをつくれれば、もっと利用者が増えると思う。</p> <p>例えば、文化センターリハーサル室がないとか、広さを大きくしてほしいとか、利用者の目線で不足しているところを考えてほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>言っている意味は理解していますが、今回は広さなどの話は、先になるので、その機会の時にお話しして頂ければと思っています。</p> <p>それは、最初の段階で大きさなどの話をしますと、後々に計算が合わなくなって、決められた範囲に入らなくなってしまうので。</p>
<p>委員</p>	<p>ハード面は後の話ということですね。</p> <p>他にも、ホールをつくるに当たって、市民の活動を待つのではなくて、市が積極的に引っ張っていく覚悟でしていかないと、今まで</p>

<p>事務局</p>	<p>と何も変わらない結果になると思います。</p> <p>たしかに何らかの仕掛けや、きっかけは必要だと思います。我々の職員の中にも個人的にしているものもあり、何が必要なのか、事業に組み込んでしていくのかといった、事業計画をしっかり作っていった事業運営にも活かしていくつもりです。でないと、つくったのに使えないとか、市民の利用が少ないといったことになれば意味がないので、先ほど話が出ましたが、事業者は決まっているか等は、当然これからで、どんな事業運営をきめてから、その運営にあった事業者を選んでいくつもりです。それが、成功するかの分かれ目だと考えています。</p>
<p>(株)日建設計</p>	<p>運営には関わりないのですが、やっぱり複合施設ではありますが、様々な分野の方が交流できるような運営にしないといけないと思います。もちろん市民の方とも触れ合えるようにしていくことで今までと違ったものになるのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>やっぱりいろんな分野の方が交流できるようにしないとね。例えば、大きなスペースの中にお茶できる場所があったりとかの折り合いをつけながら、どう上手くつくっていくかが課題ですね。その中に、使いやすい、集まりやすいものにしていくか。</p>
<p>(株)日建設計</p>	<p>個別に部屋をつくる上で、一つのもの専用に作るのではなく、様々なことが一つの部屋でできるようにしていきたいと思っています。ハード側で考えると大変になっていくのですが、あまり固く考えすぎると一つ一つ切って部屋を設けることになりまして狭くなったり、使い勝手が悪くなってきます。</p> <p>あと先ほどからリハーサル室の事がでてきますが、使い方によって作りが全然違ってくるものなんです、劇場の横にリハーサル室があればいいのか、日常の練習に使えるものがあるのか・・・</p>

委 員	劇場練習としてのリハーサル室があれば良いと思います。新居浜の文化センターは、四国で一番古いものになって、リハーサル室がなく、リハーサルは本番と同じ舞台でしています。
(株)日建設計	その事で、不便なことは何かありますか。
委 員	<p>様々な分野でリハーサルがありますから、使用頻度が多くてリハーサルができない事が良くあるんですね。その上、リハーサルで、舞台を借りるのでお金の面でも高くなります。</p> <p>ダンス等のリハーサルは、鏡があるので鏡が足りなかったり等の設備が不十分だったりですね。</p>
(株)日建設計	東京や大阪だと、ホールごとにもリハーサル室がある形で、日常の練習に使えるようになっていきますね。
委 員	ホールを借りなくても、リハーサル室だけを使えるような形にしてほしい。
(株)日建設計	大きさの問題ですが、小劇場と同じ大きさのリハーサル室が必要というのはほとんど不可能でして、逆に音楽のリハーサルをするのであれば、リハーサル室ではなくて小劇場を使ったほうが良いですし、そうでなければ、リハーサル室の高さだったり、設備というのが変わってきて、全てを一つのリハーサル室でするのは、無理がありますので、事業運営との話し合いで、合理化できればと・・・
委 員	地域によって違いますが、使用頻度は、新居浜市では、土日祝日が多くて、平日にも使用されるようにするには、例えば、小劇場の椅子をロールバックチェアにして、大きく使えるリハーサル室になるように設備もつけるとかは良いと思います。

<p>(株)日建設計</p>	<p>バレエはできると思います。イベントとかにも良いと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>田邊さんは、劇団されていて、リハーサル室にある程度の照明をつけたりして、舞台に近い環境にできるんじゃないかと思ひまして。</p>
<p>(株)日建設計</p>	<p>そこまでの設備にするのであれば、もう舞台でリハーサルをして頂いた方が良いでしょう。</p>
<p>委 員</p>	<p>舞台のことで、当然キャパの問題が出てくるのですが、舞台が小さいから使いたくても使えない団体が多いと思うんですが。サイズで言いますと、文化センターの大ホールでも小さいので・・・</p>
<p>(株)日建設計</p>	<p>小ホールの床をフラットにすればリハーサルもできるということですね。でも、小ホールと同じ大きさでもう一つリハーサル室をつくるのは、不可能に近いと思います。</p> <p>しかし、構造の部分でフラットにすると、床の固さを均一にするのは難しくなってきますので。</p>
<p>委 員</p>	<p>迫舞台の関係上少し床の固さが変わるのは仕方ないですね。</p>
<p>委 員</p>	<p>私が、このホールに求めるものが違うんですね。この新居浜は、行く所がなく、小さい子供たちのために、私ができることは、毎週イベントをすることで、この文化施設にすれば、新居浜のことが分かるという風にしていきたい。</p> <p>あと、これと決めて小ホールをつくってしまうと、演劇の今の主流では、様々なセットに組みかえれなくなるので。</p>

<p>(株)日建設計</p>	<p>やりたい内容によって、これから話あっていって建設設備をどうするか決めていきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>時間が超過しておりますので、議論を終わりにしたいと思います。委員の皆さまには、お手元の資料の中に「総合文化施設について」という意見を書き込んでいただく用紙を配布しておりますので、今回思ったことや、また、後から思ったことでも結構ですので、自由に書き込んで頂いて、5月中に出して頂きたいと思います。</p>
<p>(株)日建設計</p>	<p>まだ、どうにでも変えられる最初の段階なので、委員さんには、意見を自由にいただいて、こちらで調べたいと思います。 複合施設なので、他の分科会に意見もありますし、それだけは、理解してもらえればと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>最後に一つだけ、今回は、複合施設ということで様々なものの交流ができるようになりますが、もし有料演目があるときに、もぎりラインをしっかりとつくってもらいたい。どこからでも入れるものにする、警備員がたくさんいるようになったり、様々のことでお金がかかるので、それだけお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回の意見と、配布いたしました意見票をふまえて、次回の第2回分科会を一つ進んだ話し合いをしていきたいと思っています。 次回の分科会は、6月13～15日で予定しております。お手元にある開催希望表にご記入していただいて都合の良い日にして、ご連絡差し上げますので、よろしくをお願いします。  今回は、お忙しい中、ありがとうございました。</p>